成田空港活用協議会

令和５年度　事業報告

（資料編）

目　　次

【１】ビジネス創出支援事業

（１－１）成田空港の更なる機能強化と道路ネットワークの拡充効果を活かした産業集積とビジネス創出に向けた取組

〇第１回県内経済活性化セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

〇第２回県内経済活性化セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

（１－２）成田空港の成長と社会・経済の変革・イノベーションに対応した事業への取組

〇航空／空港関連企業との商談会・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

〇ランドオペレーターとの商談会・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

〇第３回県内経済活性化セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

（１－３）成田空港の効果の全県への波及に向け、市町村が取り組む地域活性化事業との連携

〇日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客・・・ 17

〇地域課題解決のための検討会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

【２】人材育成支援事業

〇高校生向け航空／空港関連業種についての出張授業・・・・ 21

〇将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業・・ 25

〇成田空港教育教材作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

〇高等学校の教員向け空港視察会・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

〇大学との連携による人材育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

【３】空港利用促進事業

〇空港利用回復事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

【４】基本的な取組

〇首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望・・・ 45

〇会員向け情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

〇会員提案の募集・具体化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

【５】その他

〇プレスリリース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

【1】ビジネス創出支援事業

（１－１）成田空港の更なる機能強化と道路ネットワークの拡充効果を活かした産業集積とビジネス創出に向けた取組

第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

成田空港の更なる機能強化の推進に合わせて、成田空港全体の能力向上及び空港周辺地域における国際的産業拠点の形成を図ることによる、県内経済活性化への期待感を醸成するため、総会終了後に「第 1 回県内経済活性化セミナー」を開催した。

セミナーの様子　①

セミナーの様子　②

［展　開］

・ 日　時：令和５年５月２２日（月）　１５：００～１６：３０
・ 場　所：ＴＫＰガーデンシティ千葉３Ｆ「シンフォニア」
・ 講　演：
　① 「『新しい成田空港』構想中間とりまとめについて」
　　講師：成田国際空港株式会社
　　上席執行役員　経営企画部門副部門長・空港計画部長事務取扱
　　川瀬　仁夫　氏
　② 「成田空港周辺地域の土地利用規制の弾力化について」
　　講師：千葉県　総合企画部　成田空港政策課長
　　椎名　正明　氏
・ 参加者：１１６名

［アンケート結果］　　総数３４件

（１）「『新しい成田空港』構想中間とりまとめについて」
　◎ 大いに参考となった・・・・・・３４．８％
　○ ある程度参考になった・・・・・５７．３％

△ あまり参考にならなかった・・・　７．９％

（２）「成田空港周辺地域の土地利用規制の弾力化について」

◎ 大いに参考となった・・・・・・・４２．９％

○ ある程度参考になった・・・・・・５４．３％

△ あまり参考にならなかった・・・・　２．８％

（３）「今後の事業展開に役立つヒント等、成果は得られましたか」（自由回答）

・ 今後の空港ターミナル活用将来像について理解できたが、今後労働者賃金の低下につながる懸念があり、地元労働者の維持が重要と感じた。

（４）「今後取り上げてほしいテーマ」

・ インバウンド需要の将来について

・ 成田空港機能拡張により、空港周辺の物流倉庫の需要や期待される役割等の変化について

［総　括］

● 参加者から「ターミナルが１つになり、物流拠点として充実した設備・アクセスを整備しようとしているのが理解できた」など、好意的な声が寄せられた。

● 総会同日に実施することにより、多くの会員に参加いただくことができた。

第2回県内経済活性化セミナー
「農業の生産性向上とブランディング（高付加価値化）及び輸出促進について」

成田空港周辺地域は、空港や市場などのインフラや地理的条件が整っており、農業による地域活性化のポテンシャルが高い。

このポテンシャルを引き出し、成田空港の利用促進やＩＣ周辺の産業集積を図るため、先進的取組を行っている農業経営者を講師としたセミナー及び先進事例の視察会を開催した。

セミナーの様子

先進事例視察の様子

［展　開］

（１）セミナー

日　時：令和５年１０月１６日（月）　１４時００～１６時４０分

場　所：千葉銀行本店　３階大ホール

参加者：１１２名（会場６２名、オンライン５０名）

（会員６９名、非会員４３名）

内　容：

① 「成田空港を活用した農産品の輸出とブランド力向上」
有限会社 青空市場　代表取締役　永島 敏行 氏（俳優）

② 「強い農業はこえていく」
株式会社 くしまアオイファーム 代表取締役会長 池田 誠 氏

③ 「１粒 1,000 円！ ミガキイチゴの挑戦」
株式会社 ＧＲＡ　代表取締役　岩佐 大輝 氏

※ 講演会終了後、会場後方にブース（テーブル）を設置し、講師と参加者との交流の場を設けた。名刺交換・情報交換等が盛んに行われた。

（２）先進事例視察（セミナー及び視察）

日　時：令和５年１０月２７日（金）８時３０分～１７時１０分

場　所：(セミナー)　常総市地域交流センター

（視　　察）　アグリサイエンスバレー常総

参加者：５８名（会員限定、１７企業・団体）

内　容：

ａ．セミナー

①「アグリサイエンスバレー常総“農業の６次産業化によるまちづくり”」
常総市 産業振興部 アグリサイエンスバレー整備課
課長補佐 塚本 義史 氏

②「常総インターチェンジ周辺地区 ≪アグリサイエンスバレー構想≫」
戸田建設(株) 戦略事業本部
国内投資開発事業部 地域価値創生部　部長 飯田 勝 氏

③「アグリサイエンスバレーへの進出について」
グッドマンジャパン（株）リーシング＆ビジネスディベロップメント
リーシング統括部長 坂本 聖司 氏

ｂ．視察

① 道の駅常総
常総市担当者の説明により、農産物直売所、売店、食堂のほか、TSUTAYA BOOKSTORE、屋外こども広場等を視察。
常総市担当者の案内により実施。

② グランベリー大地（イチゴ農園）
農園代表の説明により、栽培現場、農園併設の直売所等を視察。

③ その他
バス車内（往路）で、「圏央道等、道路インフラの整備状況」、「成田空港のさらなる機能強化」、「常総市のアグリサイエンスバレー構想」について、勉強会を開催。

［アンケート結果］

（１）セミナー

● 評価

・「大いに参考になった」が全体の７２％、「ある程度参考になった」が同２８％であった。

● 自由意見

・成田空港経由の農産物の輸出に可能性を感じることができた。
・輸出に向けた取組はハードルが高いと感じていたが、自分達でもできるのではないかと感じた。
・成田空港周辺の農業が、空港と共存し、空港の機能を享受するという仕組みは、農家の農業としての事業承継を考えるうえでも有効と感じた。
・人口減少のなか、海外を含め、新しく稼ぐ販路を開拓していきたい。

・ 千葉のポテンシャルは高いと感じた。
・ ニッチな農業の話と思っていたが、それ以外の話も多く、大変勉強になった。
・ 農業以外にも対応できる、素晴らしく感銘を受けた講演内容だった。
・ 普段得難い講演内容ばかりで、とても興味深く、参考になった。

● 「セミナーで取り上げて欲しいテーマ」
・ 成田空港と羽田空港の活用における差異について
・ 空港周辺への企業誘致について
・ インターチェンジ周辺への企業誘致方法、事例等について

農業セミナー（アンケート集計）

（単位：件、％）

		①「永島敏行」氏		②「池田 誠」氏		③「岩佐大輝」氏		計（①+②+③）	
			構成比		構成比		構成比		構成比
合計	大いに参考となった	37	64.9%	43	74.1%	45	77.6%	125	72.3%
	ある程度参考になった	20	35.1%	15	25.9%	13	22.4%	48	27.7%
	あまり参考にならなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	57	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	173	100.0%
会場	大いに参考となった	23	79.3%	24	82.8%	24	82.8%	71	81.6%
	ある程度参考になった	6	20.7%	5	17.2%	5	17.2%	16	18.4%
	あまり参考にならなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	29	100.0%	29	100.0%	29	100.0%	87	100.0%
オンライン	大いに参考となった	14	50.0%	19	65.5%	21	72.4%	54	62.8%
	ある程度参考になった	14	50.0%	10	34.5%	8	27.6%	32	37.2%
	あまり参考にならなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	28	100.0%	29	100.0%	29	100.0%	86	100.0%

（２）視察

● 評価

「大いに参考になった」が全体の７５％超で最も多く、次いで「ある程度参考になった」が同２３％で続いた。

● 自由意見
・ 産官学が連携した産地振興、地域計画の考え方、出口戦略を中心とした６次産業化の考え方、大規模イチゴ農園のモデル事例等、参考になった。
・ 農業が基幹産業である成田空港周辺地区において、今後の必要な視点を多く感じることができた。
・ 行政と民間の関わり方、開発と農業の両立について、大変参考になった。
・ 事業の成功には、官民連携による事業推進の必要性が不可欠と感じた
・ インターチェンジ周辺の開発事例として、とても参考になった。
・ 農地転用がネックとなるなか、解決策の一つを示していただけた。
・ 他の職員にも参加して欲しかったと思うほど、ヒントがたくさんあった。

・ 空港や道路の利便性等、改めて、千葉県のポテンシャルの高さを実感した。
・ 実際に現場を見ることで、イメージが湧いたほか、千葉県との違いを再認識することができ、有意義であった。セミナー講師の選定も良かった。

先進事例視察（アンケート集計）

（単位：件、％）

	① 常総市		② 戸田建設		③ ｸﾞｯﾄﾞﾏﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ		計（①+②+③）	
		構成比		構成比		構成比		構成比
大いに参考となった	37	88.1%	33	78.6%	25	59.5%	95	75.4%
ある程度参考になった	5	11.9%	9	21.4%	15	35.7%	29	23.0%
あまり参考にならなかった	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%	2	1.6%
計	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%	126	100.0%

［総 括］

● （１）のセミナーについて、参加者アンケートによると、「大いに参考になった」が全体の７２％、「ある程度参考になった」が同２８％であった。
　また、自由意見では、「成田空港経由の農産物の輸出に可能性を感じることができた」、「輸出はハードルが高いと思っていたが、自分達でもできるのではないかと感じた」等、前向きな声が寄せられた。

● （２）の先進事例視察について、参加者アンケートによると、「大いに参考になった」が全体の７５％超で最も多く、次いで「ある程度参考になった」が同２３％であった。
　また、自由意見では、「行政と民間の関わり方や、開発と農業の両立について、大変参考になった」等の回答があった。

● 今回、会員から改めて「産業集積」への高い関心（空港周辺への企業誘致等）が示されたことから、引き続き、産業集積への機運醸成につながる取組を検討・実施してまいりたい。

（１－２）成田空港の成長と社会・経済の変革・イノベーションに対応した事業への取組

航空／空港関連企業との商談会

航空／空港関連企業と県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現を図り、地域経済の活性化につなげる。
６回目の開催となる今回は、食品の卸売・小売・機内食等を展開するバイヤーと県内食品事業者との個別商談及び展示商談を実施し、取引機運醸成を図った。

個別商談の様子　①

個別商談の様子　②

あいさつする小泉副会長（成田市長）

あいさつする熊谷特別顧問（千葉県知事）

展示商談の様子　①

展示商談の様子　②

［展　開］

日　時　：令和５年１１月２１日（火）　１０時００分～１６時３０分
場　所　：ＡＮＡクラウンプラザホテル成田（成田市）
参加者　：バイヤー　　２０社（２１部門）
　　サプライヤー　４９社（県内に事業所・生産拠点をもつ企業等）
開催方式：事前マッチング型の個別商談及び展示商談
対象品目：「千葉ならでは」という特徴をＰＲできる商品

・　昨年１１月以来の開催となる今回は、「おいしい千葉と空の商談会２０２３秋」と題して、ＡＮＡグループやＪＡＬグループをはじめとした航空／空港関連企業へバイヤーとして参加を募り、サプライヤーは、千葉県内に事業所等を持つ企業・商店・生産者を対象に参加を募った。
・　個別商談は、事前マッチング型とし、１コマ２０分で午前３コマ、午後６コマを実施した。
・　前回に続いて、商談会に精通した専門家（(一社) 千葉県中小企業診断士協会）の協力の下、バイヤーへのニーズ調査、商談先の提案などマッチング調整に力を入れた。結果として、合計１７９件の個別商談（各バイヤー平均８．５商談）を実施することができた。
・　商談スキルの向上等を目的としたサプライヤー向けの事前説明会（ＹｏｕＴｕｂｅによるオンライン配信）を開催し、ノウハウの提供や成約に向けた助言を行った。その他、ＦＣＰシートの作成支援や相談体制の構築等、専門家による個別フォローを実施した。
・　商談会後も、成約に向けた後押しや商談時の反省（今後に向けた整理）等を促すため、専門家による個別フォローを実施した。
・　商談会の３か月後、サプライヤー向けの事後研修会（ＹｏｕＴｕｂｅによるオンライン配信）を開催し、バイヤー向けヒアリングで得られた情報を踏まえ、今後の商談成約率を高めるために必要なポイントやノウハウを網羅的に講義した。

［商談会当日のアンケート結果］

＜商談の成果＞

● バイヤー参加者数２０社（２１部門）（うちアンケート回収２０社（２１部門））
　商談数合計＝１８８件（※展示商談を含む）
　・具体的な商談成約をした＝５件
　・成約には至らなかったが、継続的な商談をしていきたい＝１２４件
　・継続的な商談の可能性が低い＝５４件
　・無効回答数（未回答）＝５件

● サプライヤー参加者数４９社（うちアンケート回収４９社）
商談数合計＝１９９件（※展示商談を含む）

- 具体的な商談成約をした＝１６件
- 成約には至らなかったが、継続的な商談をしていきたい＝１４８件
- 継続的な商談の可能性が低い＝３３件
- 無効回答数（未回答）＝２件

＜商談会についての主な意見・コメント＞

（バイヤー）

- 千葉県の食材を使用し、それを千葉に事業所を構えるメーカー様が懸命に販売されるのは、素晴らしいと感じました。常温の商品が少なく感じたので常温品の取り扱いを増やしていただければなと思いましたのと、千葉ならではの「フルーツ」等があると、弊社としてはありがたいと感じます。
- 最初にいただいた商品リストが限定的であったため、リスト以外の商品も一通り確認できる資料があると良かった。
- 色々な企業様と商談ができ勉強になりました。ありがとうございました。
- 展示商談では実際に商品を手に取る、食すことができてイメージを持ちながら商談を行えたため、大変よかったです。

（サプライヤー）

- 展示スペースでのアイドリングタイムが勿体なく感じた。もっと多くのバイヤーに来ていただき、展示コーナーを生かしてほしい。
- はじめての参加でとても不安でしたが、空港関係のバイヤー様と直接お話が出来て、意見を頂けて良かったです。改良していけるところと、すぐにはできないところとありますが、出来るところから挑戦していきたいと思います。
- 製品の魅力をどう見せるか、パッケージをどう工夫するか、必要だと感じました。
- 昨年まではコロナの影響もあり話が進まないことが多かったが今年は昨年とは違い、話がスムーズに進んでいきそうな雰囲気があった。
- 午後のフリーの時間を設けていただきたいと思いました。商談が入っていない時間はかなりの空き時間になってしまったためです。
- 調理可の試食が出来たら良い
- 今回提示商品が２品のみ、かつ、試食・試飲の制限があったため、あまり多くの方へのアピールが出来なかった。品数制限をなくす、もしくは試食・試飲ができるよう制度の緩和を求めたい。

［商談会2～3か月後のアンケート結果］

＜商談会後の継続商談及び取引開始状況＞

● バイヤー参加者数＝２１社（うちアンケート回収２１社）

・ 商談会後にあらためて商談を行ったバイヤーの数＝１３社

・ 商談会後にあらためてバイヤーが商談を行った件数＝４５件

・ 商談会後に取引開始となったバイヤーの数＝６社

・ 商談会後に取引開始となった商談件数＝７件

・ 全体の個別商談数に対して取引開始となった商談の割合（成約率）
＝３．９％（７件/１７９件）
※参考　前回２０２２秋　１０．８％（１５件/１３９件）

・ 商談会後に取引検討中の商談件数＝３０件

［協力会員］

全日本空輸㈱、日本航空㈱、成田市、成田商工会議所、成田地区ホテル業協会、㈱千葉銀行、㈱千葉興業銀行、㈱京葉銀行、㈱グリーンポート・エージェンシー

［総　括］

● 前回に続いて（一社）千葉県中小企業診断士協会の協力を得て、サプライヤーへの指導・支援を丁寧に行い、商談のレベルを一定水準に保つことで、商談会の２～３か月後時点で約２０％の商談が成約又は継続商談中であり、継続商談数は過去３回中最大数であることから、今後に期待が持てる結果となった。

● 当日での商談成立には至らずとも、バイヤー・サプライヤー双方から「継続的な商談をしていきたい」という声が多く聞かれ、通常であればなかなか接点を持つことができない航空／空港関連企業との商機獲得に貢献することができた。

● 引き続き、専門家による参加者支援を行うことにより、商機獲得の向上を図りながら、開催することとしたい。

ランドオペレーターとの商談会

インバウンドの本格的な回復に伴い、成田空港を利用した千葉県への訪日外国人観光客誘致を目指し、国内ランドオペレーター※と、県内の観光・宿泊・交通事業者や市町村との商談会を実施した。

千葉インバウンド促進協議会との共催により平成２７年から年１回開催し、今回で７回目の開催となった。

※ランドオペレーター：在外旅行会社の依頼により、日本国内の宿泊施設、交通、食事、入場施設等の地上手配を専門に行う事業者であり、商品造成に大きく関与する。

［展　開］

（１）商談会

日　時：令和６年２月２９日（木）　１５時００分～１８時００分

場　所：マロウドインターナショナル成田　１階「筑波の間」

内　容：個別商談（１２分×１０回）／　名刺交換会（３０分）

参加者：セラー３５社、バイヤー　２５社

商談会の様子　①

商談会の様子　②

（２）交流会

日　時：令和６年２月２９日（木）　１８時２０分～２０時００分

場　所：マロウドインターナショナル成田　１３階「摩亜魯王洞」

交流会の様子　①

交流会の様子　②

［アンケート結果］

【セラー】

● 商談件数　（回答のあったセラー３０社）

・１０件以上＝１０社（３３％）

・　９～８件＝１２社（４０％）

・　７～５件＝　８社（２３％）

● その他意見

・ 対人交流にて情報・意見交換を行い、お互いの効果を追求できる良い機会であった。

・ バイヤーとの商談のみならず、セラー同士の情報交換や交流もできたので、大変有意義な商談会であった。

【バイヤー】

● 商談件数　（回答のあったバイヤー２２社）

・１５件以上　＝　５社（２３％）　うち２社は２０件以上

・１０～１４件＝１１社（５０％）

・　５～　９件＝　６社（２７％）

● 商談の課題

・ 希望どおりの商談＝８２％

・ バイヤーとセラーの提供データに開きがあった＝１８％

● ツアーの造成課題・仕入課題

・ 最終目的地としての価値はある。東京・京都に行かなくとも千葉でできること、比較的混雑を避けることができるのが魅力。

・ 都内～成田(市内・空港)までの行程が長いので、その途中における観光素材(無料の桜並木、紅葉スポット等)を知りたい。

・ 各市町村、地域が単独で動いているように感じられ、面として一体となった千葉県独自のゴールデンルート的な提案があればよいと思った。

● 千葉県に求める観光素材についての要望等

・ 食/日本酒等の情報、歴史やヒストリー的な情報。

・ 昨年との比較でセラーの業態が変わっていて新たな交流が図られ、これまでとは異なる千葉県の発見につながり良かった。

・ 海に囲まれた地域の割りには「海」をテーマとした観光素材が少なく、他県にはない素材を提供することが今後の誘客につながるのでは。

・ 当社はVIPのお客様対応が多く少人数での行動が中心であり、和空、NIPPONIA等はその趣旨に合致するが、それ以外にも日本的な空間を感じられる施設の情報が欲しい。

【セラー・バイヤー共通】

● 満足度・必要性

	満足度			必要性		
	セラー	バイヤー	合計	セラー	バイヤー	合計
満足	18	18	36	28	18	46
やや満足	10	4	14	2	3	5
やや不満	2	0	2	0	1	1
不満	0	0	0	0	0	0
合計	30	22	52	30	22	52

［総　括］

● アンケート結果から、満足度・必要性が高い商談会となった。アジアをメインに活動しているランドオペレーターのほか、昨年以上に欧米・北米をメインに活動しているランドオペレーターの方にも参加いただき、参加者数は過去最大となった。

● 参加した会員からは、今後も引き続き行ってほしいとの声があった。参加者からの要望事項などを踏まえ、次年度以降も継続開催を検討する。

第3回県内経済活性化セミナー

「SAFの“地産地消”を通じた地域経済の活性化について」

航空業界の脱炭素に向けてＳＡＦの導入は不可避であり、成田空港を抱える千葉県にとっても大きな課題となっていることから、今後のＳＡＦのサプライチェーン構築（地産地消）を図るとともに、これを地域経済の活性化につなげるため、会員等を対象としたセミナー及びパネルディスカッションを開催した。

※　ＳＡＦ(Sustainable Aviation Fuel)とは、廃棄物等を原料とする、環境負荷の少ない次世代の航空燃料。

［展　開］

日　時：令和６年３月１日（金）　１４時００分～１６時３０分
場　所：千葉銀行本店　３階大ホール
参加者：１３７名（会場６８名　オンライン６９名）
内　容：

（１）第１部：基調講演

①「航空業界のＳＡＦ導入目標について」
定期航空協会　部長　吉田 秀彦 氏

②「成田空港におけるＳＡＦの促進」
成田国際空港（株）執行役員　経営企画部門 経営計画部
サステナビリティ推進室長　田代 敏雄 氏

③「千葉県でのＳＡＦの地産地消の可能性と課題」
（株）ちばぎん総合研究所 調査部 主任研究員　久山 直登　氏

④「廃食用油を活用したＳＡＦ製造プロジェクトと国産ＳＡＦ普及に向けた取り組み」
日揮ホールディングス（株）サステナビリティ協創ユニット
プログラムマネージャー　西村 勇毅 氏

⑤「ＳＡＦプロジェクト取り組み」
リーテイルブランディング（株）常務執行役員
リーテイルサポート事業部長　山内　赴 氏

セミナーの様子　①

セミナーの様子　②

（２）第２部：パネルディスカッション

モデレーター：(株)ちばぎん総合研究所 代表取締役 前田 栄治　氏

パネラー：定期航空協会 吉田 氏、

日揮ホールディングス（株）西村 氏、

リーテイルブランディング（株）山内 氏

テ ー マ：①SAF のサプライチェーン構築に向けての課題

②千葉県におけるポテンシャルやビジネスチャンス

※　パネルディスカッション終了後、会場後方にブース（テーブル）を設置し、パネラーとセミナー参加者との交流の場を設けた。名刺交換・情報交換が盛んに行われた。

パネルディスカッションの様子　①

パネルディスカッションの様子　②

［アンケート結果］

（１）セミナー講演(個別)に対する意見

【アンケート集計結果】　（単位：件、%）

	講演①「吉田秀彦」氏	構成比	講演②「田代敏雄」氏	構成比	講演③「久山直登」氏	構成比	講演④「西村勇毅」氏	構成比	講演⑤「山内 赴」氏	構成比	パネルディスカッション	構成比
参考となった	46	100.0%	45	97.8%	45	100.0%	45	100.0%	41	100.0%	33	97.1%
大いに参考となった	34	73.9%	33	71.7%	32	71.1%	37	82.2%	24	58.5%	24	70.6%
ある程度参考になった	12	26.1%	12	26.1%	13	28.9%	8	17.8%	17	41.5%	9	26.5%
あまり参考にならなかった	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%
計	46		46		45		45		41		34	

（２）セミナー全体についての自由意見

・ わかりやすく、とても良かった。

・ 当社は直接携わるものではないが、成田空港に関係する仕事をさせていただいているので勉強になった。

・ 直接は関わるのが難しいが、どのように関わっていくのかしっかりと考えていく必要性を感じた。
・ 草の根的な活動が必要と感じた。ありがとうございました。
・ 脱炭素の領域（ポテンシャル）とビジネスチャンスの可能性を感じた。
・ 様々な企業、業種における課題や取り組み事項と今後のビジネスの展望を知ることができた。
・ パネルディスカッションの話がわかりやすくて楽しかった。
・ 千葉のポテンシャルについて理解を深めることができた。
・ ＳＡＦ取組の具体的なイメージができました。
・ 貴重な学習の機会となり、大変に有意義な時間となった。
・ 家庭系の廃食油のポテンシャルの高さと回収の難しさを知ることができた。

（３）セミナーで取り上げて欲しいテーマ
・ 千葉県の物流産業の現状分析と今後
・ 千葉県のプロスポーツ（実業団含む）と子どもたちとの関わり
・ 千葉県の６次化成功事例　（大・中・小）企業別に
・ 千葉県の「食」に関わるスタートアップ企業の成功事例
・ インバウンドについて
・ ＳＡＦの県内一般家庭への周知・啓発活動、自治体との共働について
・ 第 3 滑路やワンターミナルなど今後、成田空港を取り巻く方向性や日本の航空界及び世界の動向などについて

［総 括］
● ＳＡＦというあまりなじみのない題材を扱ったが、時機に適ったテーマであったことから、参加者からは、「ビジネスチャンスを感じた」・「貴重な学習の機会となった」・「わかりやすい」など好意的な声が寄せられた。
● 引き続き、ＳＡＦについての機運醸成が必要なことから、会員のビジネスチャンス拡大・イノベーションの促進につながる取組を検討・実施してまいりたい。

（１－３）成田空港の効果の全県への波及に向け、市町村が取り組む地域活性化事業との連携

日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

成田空港を経由する訪日外国人や県外観光客の県内への誘客を促進するため、国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」をもとに令和元年度に製作した「光る江戸図」を、４言語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の解説用ＩＣＴ機器と併せて成田空港内で展示を行うもの。

新型コロナウイルス感染症の影響により、設置場所が３年２か月もの間閉鎖されていたが、令和５年６月から閉鎖解除となり展示を再開した。

成田空港内での展示の様子

［展　開］

● これまでの経緯

令和２年３月１２日	空港第２ターミナル(NARITA SKY LOUNGE 和)内で展示開始
令和２年４月　８日	新型コロナウイルス感染症の影響により展示場所閉鎖 （以後、令和５年５月まで展示中断）
令和５年６月	展示再開

● 解説用 ICT 機器

キャラクター召喚装置である「Gatebox」とコミュニケーションロボットの「Sota」を設置。両機器とも、言語選択ボタンを押すことで、日本語、英語、中国語、韓国語の４つの言語で屏風の解説を聞くことが可能。「Gatebox」では、国立歴史民俗博物館３Ｄキャラクターの「もみちゃん」が解説する。

Sota

Gatebox

もみちゃん

● 関係・協力団体（会員）

国立歴史民俗博物館、佐倉市、ＮＴＴ東日本千葉事業部、千葉銀行、成田国際空港

［総　括］

● 「光る江戸図」及び解説用ＩＣＴ機器の成田空港内の展示を令和２年度から開始したものの、新型コロナの影響により展示期間数か月で展示場所が閉鎖され令和５年６月に展示再開されたが、展示トータル期間はまだ１年未満と短い。

● インバウンドが順調に回復していることに鑑み、引き続き展示品を活用した県内交流人口の拡大を図る。

地域課題解決のための検討会

地域の会員ニーズを十分に把握するため、海匝地域において、地域ミーティングを開催し意見交換を行った。
また、令和4年度の安房地域における地域ミーティングを受けて同地域が実施することとなった、地域課題（インバウンド誘客）の解決を図る事業「B.B.BASE で行く！早春の南房総モニターツアー」に協力した。

［展 開］

1　地域ミーティングによる意見交換の実施

当協議会は、様々な事業・取組を実施しているものの、空港から少し離れた地域にはその効果がなかなか見えにくい状況にあり、それらの地域の会員ニーズを把握し、課題解決に資する事業を検討するため、地域ミーティングを実施している。令和５年度は、海匝地域において、地域活性化に係る現状や課題等について意見交換を実施した。

● 海匝地域

実 施 日：令和５年８月１４日（月）
会　　場：各市役所（銚子市、旭市、匝瑳市）会議室
参 加 者：銚子市、旭市、匝瑳市、成田空港活用協議会
結果概要：

- 地域に共通する課題としては、「移住・定住」及び「訪日外国人の誘客」が挙げられる。
- 「移住・定住」の促進については、人口が減少している地域として共通の課題となっている。
- 「訪日外国人の誘客」については、成田空港からのアクセスが課題であるものの、地域経済活性化の観点から促進する必要性がある。
- 九十九里地域（海匝・山武・長生地域振興事務所の所管区域）の市町村等が連携して人口減少の緩和、地域内経済循環の実現等を図るため、令和５年２月、「九十九里地域市町村連携チーム」が設置されたことから、活用協としては、同チームとの連携により取組を進めていくことも含め、今後、具体的な取組の実施可能性を検討することとなった。

2　地域が実施する事業への協力

● 安房地域

- 成田から安房地域へのインバウンドの誘客可能性を検討するため、南房総市観光協会及び館山市観光協会が、令和６年２月１１日（日）、成田・安房地域間にＪＲ東日本の「B.B.BASE」（自転車とともに移動できる電車）を走らせるモニターツアーを実施した。

・ 活用協は、プレスリリースにより当ツアーを周知したほか、県の「チーバくんグローバルパートナーズ」等のツアー参加費用や交通費を助成し、インバウンド視点での意見・感想を事業実施者へ提供するなどの協力をした。
・ 参加した県の「チーバくんグローバルパートナーズ」へのアンケート結果では、レタス狩りなど体験型観光をはじめとしたツアー全体への満足度が高く、「南房総の魅力を十分感じた」・「海鮮ランチがおいしい」などの声が寄せられた。

モニターツアーの様子　①

モニターツアーの様子　②

モニターツアーの様子　③

モニターツアーの様子　④

［総 括］

● 地域ミーティングを実施することにより、空港から離れた地域が抱える課題（移住・定住、訪日外国人の誘客等）について把握することができた。
● 引き続き地域ミーティングを開催することにより、会員ニーズの把握に努め、地域の課題解決につなげることとしたい。

【2】人材育成支援事業

高校生向け航空／空港関連業種についての出張授業

航空需要の増加や、成田空港の更なる機能強化を踏まえ、航空／空港関連企業で働く人材の育成・確保が急務となっていることから、高校生の航空／空港業界への就業意識の向上を図るため、企業の現役社員等を講師として高校へ派遣する出張授業を実施した。

［展 開］

高校生に航空／空港関連企業を就業先の選択肢としてもらえるよう、企業の現役スタッフ等を講師として高校へ派遣する出張授業を県内５校で実施した。

① 千葉敬愛高等学校における出張授業

- 日　時：令和５年１０月２６日（木）　１５：４５～１６：５０
- 会　場：千葉敬愛高等学校　マルチホール
- 参加者：生徒　２７名
- 講　師：
  「WORK at NARITA AIRPORT」 ㈱Flact
  「空港で働く ANA 現役社員による航空出張授業」 ANA 成田エアポートサービス㈱

出張授業の様子（千葉敬愛高校）①

出張授業の様子（千葉敬愛高校）②

② 八千代松陰中学校・高等学校における出張授業

- 日　時：令和５年１０月２８日（土）　１１：００～１２：３０
- 会　場：八千代松陰中学校・高等学校　教室
- 参加者：生徒　２２名
- 講　師：
  「WORK at NARITA AIRPORT」　㈱Flact
  「JAL 現役ｸﾞﾗﾝﾄﾞｽﾀｯﾌによる航空出張授業～空港で活躍するｸﾞﾗﾝﾄﾞｽﾀｯﾌ」
  ㈱JAL スカイ

出張授業の様子（八千代松陰中・高）①

出張授業の様子（八千代松陰中・高）②

③ 千葉県立一宮商業高等学校における出張授業

・ 日　時：令和５年１０月３１日（火）　１５：４５～１７：１０
・ 会　場：千葉県立一宮商業高等学校　教室
・ 参加者：生徒　１１名
・ 講　師：
「WORK at NARITA AIRPORT」　㈱Flact
「空港で働く ANA 現役社員による航空出張授業」 ANA 成田エアポートサービス㈱

出張授業の様子（一宮商業高校）①

出張授業の様子（一宮商業高校）②

④ 千葉県立長狭高等学校における出張授業

・日　時：令和５年１２月１日（金）　１５：４５～１７：００
・会　場：千葉県立長狭高等学校　視聴覚室
・参加者：生徒　１３名
・講　師：
「WORK at NARITA AIRPORT」　㈱Flact
「JAL 現役ｸﾞﾗﾝﾄﾞｽﾀｯﾌによる航空出張授業～空港で活躍するｸﾞﾗﾝﾄﾞｽﾀｯﾌ」
㈱JAL スカイ

出張授業の様子（長狭高校）①

出張授業の様子（長狭高校）②

⑤ 千葉県立松尾高等学校における出張授業

- 日　時：令和６年３月１３日（水）　１２：３０～１４：００
- 会　場：千葉県立松尾高等学校　教室
- 参加者：生徒　２８名
- 講　師：

「WORK at NARITA AIRPORT」　㈱Flact

「貨物と旅客のお仕事」　国際空港上屋（株）

出張授業の様子（松尾高校）①

出張授業の様子（松尾高校）②

［参加した生徒の感想（アンケートから)］

- 空港で働くといっても様々な仕事があるのだと思った。
- 実際に現場で働いている方の説明を聞くことができて、とても良い経験になった。
- これから空港の仕事をもっと調べたり、英語の勉強をしっかりと取り組みたいと思った。
- 国際関係の仕事に興味があるので、将来職業を決めるうえで、一つの候補に入れたいと思った。
- とてもわかりやすく、航空会社に興味を持つきっかけになった。

［総　括］

- 「高校生向け航空／空港関連業種についての出張授業」を県内５校において実施し、成田空港での様々な仕事の魅力等について、高校生に対して紹介することにより、航空／空港関連業種への興味や関心を高めることができた。
- 引き続き、教育機関と連携しながら、本事業を継続してまいりたい。

将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業
（高校生を対象とした体験型航空教室）

航空／空港に関連する様々な仕事・職を知ってもらい、航空／空港業界の人材育成・確保を図るため、千葉県内及び県外会員市町所在の高等学校の生徒を対象に、施設見学や現役スタッフを交えた座談会などの航空現場の魅力ややりがいを紹介する「体験型航空教室」を実施した。ツアーを２回実施し、合計２４校延べ１４５名の参加があった。

［展　開］

● 本航空教室では、空港の様々な仕事・職を知り、関心を持ってもらい、空港関連企業への就業意識の向上を図るため、通常では立ち入ることの出来ないランプセントラルタワーや制限エリア（ランプ内）、ターミナル等で業務内容の説明やグランドスタッフ体験等を実施した。また、座談会は、航空関連企業への理解を深めるため、現在も人材不足が問題となっている職種や普段目にする機会の少ない裏方のスタッフも加わって実施した。

募集チラシ

● 募集人数　：１６０名（ＴＯＵＲ１〔GPA+ANA〕８０名、ＴＯＵＲ２〔GPA+JAL〕８０名）
● 参加者数　：１４５名（男性３９名、女性　１０２名、教員４名）
● 参加高校数：　２４校（公立１９校、私立５校）

（1）TOUR1（GPA+ANA）

実施日時：令和５年１１月４日（土）　９：００～１６：００

開催場所：成田国際空港内制限エリア及びＡＮＡ成田スカイセンター

参 加 費：無料

参加者数：２０校７２名（男性１４名、女性５５名、教員３名）

内　　容：① ランプ内周遊ツアー、グランドハンドリング業務紹介

② グランドスタッフ業務紹介・体験

③ 保安係員による輸送制限品に関する講話、オペレーション業務講座

④ 現役スタッフとの座談会

ランプセントラルタワーの様子

グランドハンドリング業務紹介の様子

グランドスタッフ業務紹介・体験の様子

オペレーション業務講座の様子

保安係員による講話の様子

現役スタッフとの座談会の様子

【アンケート結果】

参加者に対して、体験型航空教室を通して興味を持った内容や航空業界への志望度等を確認するため、アンケートを実施した。（主な結果は以下のとおり）

あなたは航空業界で働きたいと思っていましたか？（　）は参加後の回答

【回答数】68 件（参加後の回答：68 件）

- **働きたいと思っていた(思った)　63%　（参加後：81%）18pt UP**
- 働きたいとは思っていなかった（思わなかった）　22%　（　〃　：　3%）
- どちらとも言えない　15%　（　〃　：16%）

あなたが体験してみたいと思った（興味を覚えた、楽しかった）内容はどれですか?

【回答数】150 件（複数回答可）（参加後の回答：202 件）

- ランプ内周遊バスツアー　58%（参加後：70%）
- グランドハンドリング業務紹介（車中）　31%（　〃　：42%）
- グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験　55%（　〃　：61%）
- オペレーション業務講座　14%（　〃　：27%）
- 保安係員による輸送制限品に関する講話　14%（　〃　：23%）
- **現役スタッフとの座談会　35%（　〃　：58%）　23pt UP**

1 日を通してあなたの満足度を教えて下さい。

【回答数】71 件

- 大変満足　73%
- 満足　17%
- 普通　10%
- 不満、大変不満　0%

＜体験型航空教室参加者の主な意見＞

- 自分の進路の選択をする上で、参考となった点が多かった。
- 実物や資料を用いた説明がわかりやすく、実際に働いてみたいと感じた。
- ランプ内周遊ツアーで普段行けない場所までバスでまわれて飛行機を間近で見ることができてすごかった。グランドハンドリングの中でも色々な仕事内容があって初めて知ることが多かった。
- 自分で調べてネット上で知識を吸収するのと、実際に生で見て、聞いて、体感するのでは興味の高まり方が全然違った。
- 色々な職業の方の話を聞けて、人と接する仕事から裏方まで知ることができたのでもっと航空業界に興味を持った。
- 想像していたよりも様々な職種の方々がやりがいを持って楽しく働いていることを知った。

（2）TOUR2（GPA+JAL）

実施日時：令和５年１１月１１日（土）　９：００～１６：００

開催場所：成田国際空港内制限エリア、JAL オペレーションセンター等

参 加 費：無料

参加者数：１８校７３名（男性２５名、女性４７名、教員１名）

内　　容：① ランプ内周遊ツアー、グランドハンドリング業務紹介

② 出発機お見送り体験

③ グランドスタッフ業務紹介・体験 又は 航空機整備工場見学

④ 現役スタッフとの座談会

グランドハンドリング業務紹介の様子

出発機お見送り体験の様子

グランドスタッフ業務紹介の様子

アナウンス体験の様子

整備工場見学の様子

現役スタッフとの座談会の様子

【アンケート結果】

参加者に対して、体験型航空教室を通して興味を持った内容や航空業界への志望度等を確認するため、アンケートを実施した。（主な結果は以下のとおり）

あなたは航空業界で働きたいと思っていましたか？（　）は参加後の回答

【回答数】70 件（参加後の回答：70 件）

- **働きたいと思っていた(思った)　63%　（参加後：81%）18pt UP**
- 働きたいとは思っていなかった（思わなかった）　23%　（　〃　：　3%）
- どちらとも言えない　14%　（　〃　：16%）

あなたが体験してみたいと思った（興味を覚えた、楽しかった）内容はどれですか?

【回答数】168 件（複数回答可）（参加後の回答：217 件）

- ランプ内周遊バスツアー　51%（参加後：66%）
- グランドハンドリング業務紹介　21%（　〃　：32%）
- 出発機お見送り体験　54%（　〃　：73%）
- グランドスタッフ業務紹介・アナウンス体験　51%（　〃　：49%）
- 整備工場見学等　14%（　〃　：27%）
- **現役スタッフとの座談会　27%（　〃　：54%）　27pt UP**

1 日を通してあなたの満足度を教えて下さい。

【回答数】71 件

- 大変満足　82%
- 満足　15%
- 普通　3%
- 不満、大変不満　0%

＜体験型航空教室参加者の主な意見＞

- 働いている方や空港の雰囲気が良くてさらに働いてみたいという気持ちが強くなった。
- 今までよく知らなかった航空業界の仕事の内容を詳しく知れたので、興味が湧いた。
- 今日お話を聞いて皆さんやりがいを感じて仕事をしていること、航空業界といってもいろいろな職種があることを知った。
- この体験を通して、専用車両にも乗れてこの仕事についたらこんなことが出来るんだと思った。また、普段入れない所に入れて特別感もあって、現役スタッフの方とお話できてもっと将来に向き合おうと思った。自分がもうこの場で働いている気分にもなれた。将来すごく働きたいと思いました。
- 座談会では、自分の興味のある観点から今後の将来に活かせそうな知識や感覚を学ぶことができた。出発機お見送り体験では、飛行機の迫力を感じることができた。
- 飛行機についてここまで深く触れたり目で見たりする機会がなかったので、今日の体験は新しい体験が多く、良い経験になったのではないかと思った。

［総　括］

- アンケート結果によると、参加者の満足度は非常に高く（大変満足・満足：９４％)、「航空業界で働きたいと思った」と回答した生徒が多かった（８１％)。
- 現役スタッフから直接、仕事のやりがいなどについて話を聞く機会を得られたことが、航空／空港関連業種に興味や関心を高める結果となったと考えられ、引き続き、関係機関と連携しながら本事業を継続してまいりたい。

将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業
（成田空港合同企業説明会・見学会）

人材不足が懸念されるグランドハンドリング会社などの空港内関連企業の人材確保を図るために成田国際空港（株）が主催する、合同企業説明会・空港見学会を後援した。
開催の周知について協力するとともに、当協議会の自治体会員からの希望に応じて「移住・定住」パンフレットを会場内に配架した。

［展 開］

（１）令和５年５月１８日（木）
会　場：幕張メッセ　国際会議場２Ｆ　コンベンションホール
主　催：成田国際空港株式会社、（共催）千葉労働局、ハローワーク成田
後　援：成田空港活用協議会
その他：参加企業３３社、入場者数３６３名

（２）令和６年２月６日（火）
会　場：幕張メッセ　国際会議場２Ｆ　コンベンションホール
主　催：成田国際空港株式会社
後　援：千葉労働局、ハローワーク成田、成田空港活用協議会
その他：参加企業３７社、入場者数３０５名

会場の様子（5/18）

会場の様子（2/6）

「移住・定住」パンフレットの様子（5/18）

「移住・定住」パンフレットの様子（2/6）

［協力会員］

自治体会員　４５会員

［総　括］

● 今後も成田空港や航空関連産業の従事者を確保するため、後援等の協力を継続することとしたい。

成田空港教育教材作成

航空／空港関連業種で働く人材の育成・確保を目的として、成田空港の概要に加え、様々な仕事や魅力を掲載した「成田空港　おしごと丸わかりBOOK」を発行した。

［展　開］

成田空港の見学ガイドブックを兼ねた教育教材「成田空港　おしごと丸わかりＢＯＯＫ」を発行し、誰もが自由に使えるよう当協議会のホームページに掲載した。作成に当たっては、成田空港及び航空／空港　関連業種について、より興味や関心を持ってもらえるよう、モニターツアーを通じて県内高校生の意見を取り入れた。

また、本冊子の活用を促すためのチラシを作成し、県内及び県外会員市町所在の高校あてに送付した。

［掲載内容（全16頁）］

・成田空港の概要
・成田空港を支えるお仕事紹介
・働いている方のインタビューと１日のスケジュール　等

冊子の表紙

チラシ

［協力会員］

成田国際空港(株)、千葉県

［総　括］

- 当協議会のホームページにおいて公開したことにより、多くの方に成田空港の様々な仕事を紹介することができた。
- 必要に応じて、時点修正等の見直しを検討する。

高等学校の教員向け空港視察会

航空・空港業界の人材育成・確保を図るため、成田国際空港(株)との共催により、高等学校の教員を対象とした空港視察会を開催した。
教員を対象とした視察会は成田空港として初めての取組となった。

［展 開］

（１）日　　時　令和５年８月３日（木）　１３時３０分～１７時００分
（２）場　　所　成田国際空港内
（３）参 加 者　２０校２６名
（４）参加企業　(株)FMG、(株)ジェイ・エス・エス、国際空港上屋(株)、ジェットスター・ジャパン(株)、日本空港サービス(株)
（５）内　　容　① 空港概要説明
成田国際空港(株)から、「成田空港の現状と今後」及び「空港業務の紹介」について説明。
② 空港見学（制限エリア、現場作業）
２グループに分かれて、空港内現場作業見学を実施。
グループ１：ランプハンドリング→保安検査→旅客ハンドリング
グループ２：貨物ハンドリング→旅客ハンドリング→ランプハンドリング
③ 航空／空港関連企業の方との座談会
参加者が５テーブルに分かれ、参加企業が全テーブルを回るよう実施。

空港見学の様子

座談会の様子

［アンケート結果］ 総回答数:26件

① 本空港視察会の内容は、進路指導の参考になるものでしたか。(回答数：２６件)
・ 大変参考になる　　１９件

・ 参考になる　　７件
・ あまり参考にならない　０件
・ 参考にならない　　０件
・ わからない　　０件

【「大変参考になる」の主な回答理由】

・ 学校勤務をしていると、他の業種の様子も本の知識になりがち。
本当の姿を見せていただくことで、生徒との話題にもなる。
・ 様々な企業、職種があることを知り、生徒の道がたくさんあるのだと知ることができた。
・ 実際に見てきたことを生徒に説明できる。
・ 実際に作業を行う現場のリアルな様子を拝見させていただいたので、どのような生徒にすすめるべきかがわかった。
・ 空港にはいろいろな仕事があることが良くわかった。
・ 実際に見学し、仕事内容が良くわかった。
・ ランプ業務、貨物など空港の下から支える業務があり、その業務に就きたいと考えている生徒がいるので参考になった。

【「参考になる」の主な回答理由】

・ 空港内の仕事は多くあるのでいろいろな業務を知ることができてとてもよかった。
・ 働いている方の生の声と現場を見れたから。

②本空港視察会のプログラムは十分でしたか。（回答数：２５件（無回答：１件））

・ 十分　　１６件
・ やや十分　　７件
・ やや不十分　　２件
・ 不十分　　０件
・ わからない　　０件
・ 無回答　　１件

【「十分」の主な回答理由】

・ 内容のバランスが非常に良かった。
・ 全て大変勉強になりました。
・ 内容はとても充実していてすばらしいものでした。企業の方々ともう少し質問など、お話しできる時間があるとさらに良いと思いました。
・ 普段見ることのできないエリアへ見学することができ、大変貴重な体験をすることができました。

【「やや十分」の主な回答理由】

・ 内容がよく考えられていたから。
・ 高卒で働かれている方がいらしていた企業があったので、そういう人たちにもっと話をしてもらう時間と質疑応答の時間を設けていただけるとよい思う。

・ 高卒求人についてのお話をもう少し伺えると良かった。

【「やや不十分」の主な回答理由】

・ 時間がタイトだと言われ、見れないものがあった。

［協力会員］

成田国際空港(株)、ジェットスター・ジャパン(株)

［総　括］

● アンケート結果によると、参加教員の皆様から、進路指導の参考になったとの回答があった。また、「空港にはいろいろな仕事があることがよくわかった。」や「実際に見学し、仕事内容がよくわかった。」との声もあったため、教員の皆様に航空／空港業界の様々な仕事・職について関心を持ち、理解を深めていただけたと考えられる。

● 引き続き、航空・空港業界の人材育成・確保を図るため、成田国際空港(株)と連携し、実施を検討する。

大学との連携による人材育成

大学生に対して、航空／空港関連業界への就業意識の向上を図るため、企業の現役スタッフ等を講師として大学へ派遣する出張授業を実施した。

［展 開］

活用協では、これまで高校生向けの人材育成事業に注力してきたところだが、新たな取組として大学生向け事業の実施可能性を検討するため、県内大学１校において、大学生に航空／空港関連業種への興味や関心を高めてもらうための出張授業をモデル事業として開催した。

○ 神田外語大学における出張授業

- 実施日：令和６年１月１６日（火）　１６時３０分～１８時００分
- 会　場：神田外語大学
- 参加者：学生　２８名
- 内容・講師

「WORK at NARITA AIRPORT」・ ㈱Flact

「LCC ビジネスモデルと航空会社で働く魅力」・ Peach　Aviation㈱

「世界を繋ぐ航空貨物の世界と仕事」・ 国際空港上屋㈱

出張授業の様子　①

出張授業の様子　②

出張授業の様子　③

出張授業の様子　④

［参加した学生の感想（アンケートから）］

○　知らなかった業種、業務を知れて非常に有意義な時間であった。

○　自分が調べていたこと以上に、視野が広がるきっかけとなった。

○　航空貨物についてとても興味を持った。

○　グランドスタッフしか見ていなかったが、航空業界には色々な職種があったのでもう一度自分がやりたいことを確認し、どの職種に自分が合っているのかということを考え直してみたいと思った。

○　航空業界の中にもたくさんの職種があることを知らず、働き方も様々であるため働くまでが難しいイメージがあったが、現実的な話を聞く事で航空業界に興味が生まれた。

［総　括］

●　学生からのアンケート結果は上記のとおりであり、参加した大学生に対して、航空／空港関連業種への興味や関心を高めることができたと言える。

　大学関係者からも「学生にとって貴重な機会となった。」とのお言葉があったほか、講師派遣企業からも「是非また参加したい。」との肯定的な意見をいただいた。

●　こうした結果を踏まえて、次年度も「大学生向け航空／空港関連業種についての出張授業」を実施することとし、人材育成・確保に向けた取組を強化してまいりたい。

【3】空港利用促進事業

空港利用回復事業

コロナ禍からの成田空港の利用回復、県内経済の回復・拡大を後押しするため、訪日外国人向けや国内線新規就航に係るプロモーション等を実施し、成田空港の利便性や会員市町村等の地域の魅力を国内外に発信した。

［展　開］

（１）千葉県誕生 150 周年記念行事オープニングイベントへのブース出展

県庁各課や市町村の物販や体験が楽しめる「千葉の魅力発見コーナー」において、県や成田国際空港（株）の担当者とともにノベルティグッズを配布するなど、成田空港利用促進のためのＰＲを実施した。

日　時：令和５年６月１１日（日）　10:00～17:00
場　所：森のホール２１（松戸市文化会館）　レセプションホール
内　容：アンケート回答者へノベルティの提供 等

ブースの様子

イベント会場の様子

［協力会員］
成田国際空港(株)

（２）台湾における成田空港利用促進プロモーション

知事による台湾トップセールスの機会を捉えて、観光商談会への参加事業者（台湾の観光業者）に対し、当協議会の会員団体と連携して、成田空港の利便性や県内観光等の魅力を発信した。ＰＲブースでは、当協議会で作成したバナーを設置し、会員から提供のあった観光パンフレット（繁体字）とチーバくんピンバッジをエコバッグに入れて台湾の観光業者向けに配布した。

日　時：令和５年１１月１６日（木）　１４：００～１７：００
場　所：リージェント台北（台湾台北市内ホテル）
内　容：エコバッグ等 提供

観光商談会場の様子　①

観光商談会場の様子　②

ＰＲブースの様子　①

ＰＲブースの様子　②

ＰＲブースでの配布物

配布の様子

［協力会員］
１２会員

（３）国内線新規就航に係るプロモーション

成田-旭川線就航に伴うＰＲとして、北海道旭川市において「旭川冬まつり」に合わせて開催された地元商店会のイベント(真冬の公園まつり)へのブース出展及び飲食店（旭川はれて屋台村）へのポスター掲示等を実施し、成田空港の利用を促進するとともに、会員市町村等の地域の魅力を発信した。

① 初便搭乗者へのノベルティ提供

実施日：令和５年１２月１５日（金）

② 2024 年氷彫刻世界大会協賛

会　期：令和６年２月７日（水）～ １２日（月）

- 特別出品大氷像（旭川駅前）前にバナー看板掲出〔2/9～12〕
- 北海道新聞朝刊旭川版全５段〔2/10〕
- 氷彫刻世界大会紙面告知広告クレジット表記

・ 大会看板に特別協賛として当協議会名を表示
・ 大会氷像看板２基に当協議会名表記
・ 大会プログラムに特別協賛として当協議会名を表示

③ 旭川フードテラスでのプロモーション

実施日：令和６年２月１２日（月）

・ 県内の景勝地等を組み合わせた撮影スポット（バナー）の設置
・ 会員市町村等のパンフレットを配架したラックの設置
・ アンケート回答者へ抽選会の実施（千葉県特産品等をプレゼント）

④ 旭川はれて屋台村（全 25 店舗）でのＰＲ

実施日：令和６年２月１２日（月）～３月１２日（火）

・ポスター、卓上ポップ、コースターによるＰＲを実施
・成田空港エール（ビール）及びおつまみ（千葉県産落花生）の無償提供

⑤ フリーペーパー「ライナー」への広告（旭川市様ご協力）

実施日：令和６年２月２日（金）

大氷像前バナー（旭川駅前）

北海道新聞広告
旭川近郊および道北エリア一帯
(約 12 万 5 千部発行:7市 34 町 4 村)

旭川はれて屋台村の様子

旭川フードテラス ブースの様子

旭川はれて屋台村店内の様子

旭川フードテラス　会場の様子

フリーペーパー「ライナー」広告
旭川市と近郊
（約 17.5 万部発行:5 市 13 町）

●フードテラスアンケート結果（抜粋）

回答：350 件

・旭川市・北海道内在住者　331 件（95%）

・旭川-成田線就航認知度　299 件（85%）

・　　〃　　利用度　72 件（21%）

［協力］

会　員：２７会員

その他：旭川市、旭川平和通買物公園企画委員会（旭川平和通商店街振興組合/三和・緑道商店会）、株式会社ここはれて

（４）成田空港第１ターミナルビルパンフレットラックでのＰＲ（継続）

インバウンド需要に対応するため、訪日外国人を対象とした日本で提供されるサービス等が載っているパンフレットを成田空港内に置いて県内の魅力をＰＲした。

実施時期：令和５年４月～令和６年３月

掲出場所：成田空港第１ターミナル中央ビル１階

内　　容：会員から募集した訪日外国人向けのパンフレットを当該場所に置き、県内への観光等をＰＲした。

掲出実績：４８パンフレット/２８会員（令和５年度）

（５）イベント等での配布を目的としたオリジナルグッズの作成

成田空港を想起させ日常的にも使いやすいデザインのミニハンドタオル（2,000 枚）を作成した。今後の当協議会が関係するイベント等で配布することで、ＰＲ効果を高めていく。

［総　括］

● 成田空港の利用促進、県・市町村や空港と連携した成田空港国内線ネットワークの認知度向上、及び訪日外国人へ県内の魅力発信等を行った。

● 次年度は、引き続き会員との連携を図りつつ、誘客に加えて送客についてのＰＲも展開できるように計画し、成田空港の利用促進を後押しする事業を実施してまいりたい。

【4】基本的な取組

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

成田国際空港に通じる首都圏中央連絡自動車道（圏央道）及び北千葉道路の一日も早い開通を推進するため、要望活動を実施した。
県内関係２団体とともに、財務省、国土交通省及び県選出の国会議員等に対して、要望活動を実施した。

要望活動の様子

国土交通省　吉岡 技監への要望

国土交通省　丹羽 道路局長への要望

財務省　瀬戸 財務大臣政務官への要望

［展　開］

・日　　程　　令和５年１１月２１日（火）
・参加団体　　千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
　　首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

≪要望先≫

・ 財務省
・ 国土交通省
・ 県選出国会議員　等

≪要望内容≫

1　圏央道について

・　大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和８年度の開通見込みを確実に達成すること。併せて、大栄 JCT から国道 296 号インターチェンジ（仮称）間については、1 年程度前倒しでの開通を確実に達成すること。

・　空港や空港周辺地域と圏央道を接続する新たなインターチェンジについて、具体化が図られるよう必要な助言を行うこと。また、（仮称）かずさインターチェンジの　早期整備を図ること。

・　神崎パーキングエリア（仮称）の内回りは令和７年度、外回りは令和７年度から８年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア（仮称）については、早期供用を図ること。

・　県境から大栄ジャンクション間の４車線化については、確実に事業を進めること。また、松尾横芝インターチェンジから木更津東インターチェンジ間については、早期に４車線化を図ること。特に事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間については一日も早く４車線化工事に着手すること。

・　圏央道に接続する銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が、確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。

1　北千葉道路について

・　印西市から成田市間については、早期整備に向け十分な予算を確保するとともに、直轄施行区間については、引き続き４車線での整備を図ること。

・　事業中の北千葉道路（市川・松戸）については、有料事業を早期に導入し、整備を加速させること。

・　市川市から船橋市間の未事業化区間については、国による早期事業化を図るとともに、早期整備を図るため、専用部については、直轄事業と有料事業の合併施行とすること。

・　国道４６４号の全線の直轄編入を図ること。

1　東京湾アクアラインについて

・　「アクアライン割引」の継続に必要な予算を確保すること。

1　予算・財源について

・　防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。

・　道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。

［総　括］

●　首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路は、成田空港による経済効果を千葉県全体・首都圏全体に波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、早期整備に向けて、今後も引き続き要望活動を続けていく。

会員向け情報発信

会員に対する情報発信のため、当協議会の活動状況等をまとめたニュースレターを各会員に送付した。

［展　開］

令和５年度は、以下のとおり計６回発行した。

号数	内容	刊行年月日
第１２号	・令和５年度総会の開催 ・第１回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催	令和５年６月１日
第１３号	・高等学校の教員向け空港視察会の開催 ・第２回県内経済活性化ビジネスセミナー「農業の生産性向上とブランディング(高付加価値化)及び輸出促進」の開催	令和５年８月３１日
第１４号	・第２回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催	令和５年１２月１５日
第１５号	・台湾における成田空港利用促進プロモーションの実施 ・首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望 ・おいしい千葉と空の商談会 2023 秋の開催	令和５年１２月２６日
第１６号	・「高校生を対象とした体験型航空教室」の開催	令和６年２月２０日
第１７号	・大学での「航空／空港関連業種についての出張授業」の開催 ・ランドオペレーターとのインバウンド商談会の開催 ・令和５年度第３回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催	令和６年３月２２日

【第１２号（６月発行）】

【第１３号（８月発行）】

【第１４号（１２月発行）】

【第１５号（１２月発行）】

【第１６号（２月発行）】

【第１７号（３月発行）】

［総　括］

- 随時、ニュースレターを発行することにより、当協議会の主な活動状況について、情報発信することができた。
- 次年度も引き続き、ニュースレターの発行により、会員への情報発信を行っていきたい。

会員提案の募集・具体化

当協議会においては、事務局・会員間の連携の強化、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図り、会員自身が主体となる事業の創出・自走化を促進するという事業展開方針を掲げている。

こうした方針のもと、当協議会の事業は原則、各会員からの提案に基づき実施するという枠組により、以下のとおり、会員自身が主体となり当協議会を通じて取り組みたい事業、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業等について、各会員から提案や要望を募集し、事業化を検討・実施した。

（なお、会員からの事業提案は随時募集している。）

［展　開］

- 募集期間：令和５年１１月９日（木）～令和５年１２月１５日（金）
- 募集内容：令和６年度の実施事業等
- 提案状況：会員からの事業提案（２３件）

≪会員提案の検討・具体化≫

令和５年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- 農業の生産性向上とブランディング（高付加価値化）及び輸出促進に関するセミナー
- 航空／空港関連企業との商談会
- ランドオペレーターとの商談会
- ＳＡＦの“地産地消”を通じた地域経済の活性化
- 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- 教育機関と連携した学生を対象とした取組
- 将来的な人材育成・確保に向けた体験型航空教室等実施支援事業
- 成田空港教育教材作成
- 空港利用回復事業

［総　括］

● 事務局による検討を行い、事業展開方針に合致する提案を協議会事業として位置づけ実施した。

【5】その他

プレスリリース

当協議会の活動を広くPRするため、プレスリリースなどにより、メディアへの掲載を図った。

《プレスリリース実績》 11件

① 令和５年５月１６日
「令和５年度成田空港活用協議会総会及び第１回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催について」

② 令和５年７月１９日
「成田空港初！高等学校の教員向け空港視察会を開催します！」

③ 令和５年１０月３日
「令和５年度 第２回県内経済活性化ビジネスセミナー
農業の生産性向上とブランディング（高付加価値化）及び輸出促進」

④ 令和５年１０月１３日
「高校生を対象とした『体験型航空教室』を開催します！」

⑤ 令和５年１１月１４日
「おいしい千葉と空の商談会 2023 秋の開催について」

⑥ 令和５年１１月２４日
「首都圏中央自動車道及び北千葉道路の整備促進に関する要望活動の実施について」

⑦ 令和５年１２月２６日
「成田から直通「B.B.BASE で行く！早春の南房総モニターツアー」が開催されます」

⑧ 令和６年２月２０日
「ランドオペレーターとの「インバウンド商談会」の開催について」

⑨ 令和６年２月２０日
「令和５年度 第 3 回県内経済活性化ビジネスセミナー
SAF の地産地消を通じた地域経済の活性化」

⑩ 令和６年３月６日
「県立松尾高等学校において「航空／空港関連業種についての出張授業」を開催します」

⑪ 令和６年３月２６日
「『成田空港 おしごと丸わかりＢＯＯＫ』の発行について」

《メディア等掲載実績》 23件

① 令和５年　５月２２日　千葉テレビ　令和５年度総会
② 令和５年　８月　３日　ＮＨＫ　高等学校の教員向け空港視察会
③ 令和５年　８月　３日　千葉テレビ　高等学校の教員向け空港視察会
④ 令和５年　８月　３日　共同通信　高等学校の教員向け空港視察会
⑤ 令和５年　８月　４日　産経新聞　高等学校の教員向け空港視察会
⑥ 令和５年　８月１０日　東京新聞　高等学校の教員向け空港視察会
⑦ 令和５年　８月１２日　毎日新聞　高等学校の教員向け空港視察会
⑧ 令和５年　８月１８日　朝日新聞　高等学校の教員向け空港視察会
⑨ 令和５年１０月１１日　読売新聞　高等学校の教員向け空港視察会
⑩ 令和５年１０月１６日　千葉テレビ　第２回県内経済活性化ビジネスセミナー
⑪ 令和５年１１月　５日　ＮＨＫ　体験型航空教室
⑫ 令和５年１１月　８日　千葉日報　体験型航空教室
⑬ 令和５年１１月１６日　毎日新聞　体験型航空教室
⑭ 令和５年１１月２１日　千葉テレビ　おいしい千葉と空の商談会 2023 秋
⑮ 令和５年１１月２４日　産経新聞　おいしい千葉と空の商談会 2023 秋
⑯ 令和５年１１月２５日　千葉日報　要望活動
⑰ 令和５年１１月２７日　成田ケーブルテレビ　おいしい千葉と空の商談会2023秋
⑱ 令和５年１１月２８日　日刊建設タイムズ　要望活動
⑲ 令和５年１１月３０日　毎日新聞　おいしい千葉と空の商談会 2023 秋
⑳ 令和５年１２月　９日　読売新聞　おいしい千葉と空の商談会 2023 秋
㉑ 令和５年１２月１６日　日刊建設新聞　要望活動
㉒ 令和６年　３月　１日　千葉テレビ　第３回県内経済活性化ビジネスセミナー
㉓ 令和６年　３月１３日　千葉テレビ　県立松尾高等学校における出張授業